

令和 7 (2025) 年度

「運営に関する計画」

大阪市立住吉小学校

令和 7 (2025) 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、与えられた課題に対してはまじめに取り組もうとする姿勢が見られる一方、自ら進んで学習に取り組んだり、自ら考えて課題を設定したりする「学びに向かう力」については課題が見られる。その要因の一つとして、基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いていないことが挙げられる。昨年度、全国学力・学習状況調査の平均正答率において、国語は市平均より5ポイント下回り、算数に至っては市平均より10ポイント下回った。算数における無回答率も8.6%と割合が多く、粘り強く最後まで取り組む姿勢に課題がみられる。また、小学校学力経年調査の結果もあわせてみると、正答率上位層と下位層の二極化が見られる。特に区分IVの児童の割合が国・算ともに3割を超えており、低位層の児童の底上げが大きな課題である。昨年度の小学校学力経年調査の結果では、上位層の児童の割合は増えたが、下位層の児童の割合も増加する結果となった。この結果からも、引き続き児童一人一人に基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるとともに、主体的に課題解決に取り組むことで満足感や達成感を実感できるような授業という視点で授業改善を行う必要がある。

児童の規範意識については、学校のきまりや時間を守ろうという意識は育ちつつある。しかし、依然として自己中心に考えて、自分たちのやりたいことを優先してしまう傾向がある。規範意識を確実に行動化するためには、学校安心ルールを活用しながら、児童の安全に対する理解を深めたり、安全のための行動を習慣化するよう繰り返し指導を積み重ねたりしていく必要がある。また、児童の人権感覚を養うため、様々な取り組みを積み重ねてきた結果、差別を許さない心や相手を思いやる態度は育ちつつある。その一方で、学級や学年の集団として、互いに認め合い高め合う集団が育成されているかどうかについては課題が残る。これは、集団を構成している児童一人一人の自尊感情の低さであったり、他者とのコミュニケーションがうまく図れなかつたりすることが要因であると考える。日々の授業だけでなく、学校行事や学年の取り組みなど様々な場面で児童が互いに支え合い、協力し合うことの大切さを実感させることが必要である。

健康面や体力面については、体育科において学習カードを使用したり、ルールや場を工夫したりするなど、「楽しい」「おもしろい」と児童が感じる授業作りに努めてきた。その結果、児童が楽しいと感じる運動や遊びの幅に広がりが見えるようになった。さらに、授業以外でも、鉄棒チャレンジやなわとび集会の運動週間を行ってきたことで、様々な運動に親しむ姿勢も見られるようになった。それらのことが、運動能力や体力の向上へと繋がり、さらに課題となっていた児童の筋力・持久力を向上させるような活動についても、年間を通じて課題の克服に取り組んだ。今後は夏の熱中症やインフルエンザ等の流行性感冒で、行動が制限されることもあるが、引き続き室内や短時間でも行える運動の取り組みを考えていく。また、運動に対する関心や意欲を高める取り組みや体力の向上に努めていきたい。さらに児童が自らの生活習慣について振り返り、健康に生活を送ろうとする意識を育てていく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査(校内調査)における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85% 以上にする。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査(校内調査)における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、「当てはまる」と回答する児童の割合を 65% 以上にする。

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査(校内調査)における「自分にはいいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比を 1.00 にする。
(令和 6 年度 国語 : 0.90 算数 : 0.82)

基本的な方向 5 健やかな体の育成

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における、体力合計点の対全国比を、男女ともに 1.00 にする。(令和 6 年度 男子 : 0.91 女子 : 0.92)

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育 D X (デジタルトランスフォーメーション) の推進

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日に数が、年間授業日の 5 割以上にする。(ただし、学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く)

基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90% 以上にする。

基本的な方向 9 生涯学習の支援

○「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して、肯定的に回答する小学校の割合を 85% 以上にする。

2 中期目標達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合 90%以上にする。
- ② 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ③ 学校生活アンケートにおいて「緊急時（災害時、不審者対応時を含む）に自分で考え適切な避難をすることができた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 90%以上にする。
- ④ 学校生活アンケートにおいて「友だちのよいところを見つけることができた。」の項目で肯定的な割合を 90%以上にする。
- ⑤ 学校生活アンケートにおいて、『「自分」「友だち」を大切にしていますか』の項目で肯定的に答える児童の割合を 90%以上にする。
- ⑥ 校内発表会等の取り組み実施後のアンケートにおいて「いろいろな国の歌やあいさつ（言葉）などに興味をもつことができましたか。」という項目で肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。
- ② 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- ④ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ⑥ 学校生活アンケートにおいて、「給食（お弁当）では、自分に合わせた量を残さずに食べている」項目について肯定的に答える児童の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 全教員が研究授業を 1 本行い、個別の研修（年次研修、必修研修、総研、区の主任会を含む）に参加し、学習活動に活かす。
- ② 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く）
- ③ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90%以上にする。
- ④ 学校生活アンケートの「自分の地域を大切にしている」の項目で肯定的な意見を 90%以上にする。

本年度の自己評価結果の総括

大阪市立住吉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
<p>① 小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>② 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>③ 学校生活アンケートにおいて「緊急時（災害時、不審者対応時を含む）に自分で考え適切な避難をすることができた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>④ 学校生活アンケートにおいて「友だちのよいところを見つけることができた。」の項目で肯定的な割合を90%以上にする。</p> <p>⑤ 学校生活アンケートにおいて、『「自分」「友だち」を大切にしていますか』の項目で肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>⑥ 校内発表会等の取り組み実施後のアンケートにおいて「いろいろな国の歌やあいさつ（言葉）などに興味をもつことができましたか。」という項目で肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	
<p>取組内容①【生活指導部】【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、暴力行為、不登校について、実態把握を行い、校内体制を整える <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート、小学校学力経年調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目で最も肯定的な「そう思う」の割合を90%以上にする。 	進捗状況
<p>取組内容②【生活指導部】【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持ち、情報を安全に利用できるように情報モラル教育を進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・情報モラル教育を年間一本以上各学年で行う。 	
<p>取組内容③【生活指導部（安全教育）】【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の避難体制について、訓練を行うとともに、事前・事後の指導を適宜行う。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて「緊急時（災害時、不審者対応時を含む）に自分で考え適切な避難をすることができた」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。 	
<p>取組内容④【生活指導部】【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体で集団づくりに関する指導に取り組む。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて「友だちのよいところを見つけることができた。」の項目で肯定的な割合を90%以上にする。 	
<p>取組内容⑤【人権教育部】【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通じて、人権教育に視点を入れ、「自分」を大切にする、「友だち」を大切にする児童を育てる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおいて『「自分」「友だち」を大切にしていますか』の項目で、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。 	
<p>取組内容⑥【人権教育部】【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流や国際理解、多文化共生に関わる教職員研修や授業を年1回以上実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内発表会等の取り組み実施後のアンケートにおいて「いろいろな国の歌やあいさつ（言葉）などに興味をもつことができましたか。」という項目で肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。 	

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75% 以上にする。</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80% 以上にする。</p> <p>⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 85% 以上にする。</p> <p>⑥ 学校生活アンケートにおいて、「給食（お弁当）では、自分に合わせた量を残さずに食べている」項目について肯定的に答える児童の割合を 90% 以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【学力向上】【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を活用した授業充実させることにより、子どもたちが「わかった・できた」と実感することのできる授業を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて、「授業の内容がわかった・できた」という項目で、肯定的に答える児童の割合を 90% 以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント向上させる。 	
<p>取組内容②【学力向上】【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年からの英語教育（英語モジュール）や C - NET とのチームティーチングの授業を行うことで、楽しく外国語を学ぶことができる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートで、「とてもできた（ほとんどできた）」と肯定的に答える児童の割合を 75% 以上にする。 ・学校生活アンケート、小学校学力経年調査で「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。 	
<p>取組内容③【学力向上】【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I C T 機器活用による視覚的教材等を導入して理科に興味関心を持つようとする。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート、小学校学力経年調査で「理科の勉強が好きですか」と肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容④【学力向上】【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い学習等を取り入れて、児童が自ら考え問題解決能力や表現力を養う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート、小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容⑤【健康教育部】【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業において、副読本や学習カードなどを活用しながら指導法の工夫に努めると共に、休み時間や運動週間において、楽しく運動に取り組むことができるようとする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて、「様々な運動に意欲的に取り組むことができた」と肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容⑥【健康教育部】【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年・栄養教諭による食育推進授業などの食育の実践を通して、自分たちの食生活を見直し、健康に生活を送ろうとする態度を養う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて、「給食（お弁当）では、自分に合わせた量を残さずに食べている」の項目について肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。 	

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 全教員が研究授業を 1 本行い、個別の研修（年次研修、必修研修、総研、区の主任会を含む）に参加し、学習活動に活かす。</p> <p>② 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）</p> <p>③ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。</p> <p>④ 学校生活アンケートの「自分の地域を大切にしている」の項目で肯定的な意見を 90% 以上にする</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【研究部】【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究や研修会を通して、教員の指導力の向上を図る。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が研究授業を 1 本行い、個別の研修（年次研修、必修研修、総研、区の主任会を含む）に参加し、学習活動に活かす。 	
<p>取組内容②【学力向上】【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く） <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートにおいて「学習たんまつでの学習は楽しい」の項目で、肯定的に答える児童の割合を 90% 以上にする。 	
<p>取組内容③【管理職】【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の心身の健康を図る取り組みを行う。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90% 以上にする。 ・ゆとりの日を週 1 回以上設定・実施する。（学校全体として隔週で週 1 回、それ以外の週は学年で週 1 回） 	

取組内容④【学力向上】【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・地域のゲストティーチャーを招聘し、年1回以上交流活動を行う。

指標

- ・学校生活アンケートの「自分のすんでいる地いきを大切にしている」の項目で肯定的な意見を95%以上にする